

## 創域理工学研究科社会基盤工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル A

構造学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考	
基礎科目	風と構造物	2	選択	共通	6単位を修得する。	
	計測と解析	2	選択	共通		
	土木工学と時事問題	2	選択	共通		
	土木基礎構造物の設計・施工	土木基礎工学特論	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
		コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
		環境学特論	2	選択	共通	
	水災害と水環境	水災害と水環境	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
		水文気象学特論	2	選択	共通	
		国土情報工学特論	2	選択	共通	
	社会基盤整備と市民参加	社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
		交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
		振動と波動特論	振動と波動特論	2	選択	
数値解析特論	2		選択	共通		
コンクリート技術特論	2		選択	共通		
専門分野	文献研究及び実験研究1A	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究1B	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究2A	4	必修	2		
	文献研究及び実験研究2B	4	必修	2		

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 創域理工学研究科社会基盤工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル B

防災学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考
基礎科目	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	6単位を修得する。
	土木基礎工学特論	2	選択	共通	
	コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
	風と構造物	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
	計測と解析	2	選択	共通	
	土木工学と時事問題	2	選択	共通	
	環境学特論	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
	水災害と水環境	2	選択	共通	
	水文気象学特論	2	選択	共通	
	国土情報工学特論	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
	軟弱地盤の課題と対策	2	選択	共通	
	交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
専門分野	地震地盤工学特論	2	選択	共通	いずれか4単位以上を選択必修とする。
	地盤改良と補強法	2	選択	共通	
	流域水防災	2	選択	共通	
	文献研究及び実験研究1A	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究1B	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究2A	4	必修	2	
	文献研究及び実験研究2B	4	必修	2	

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 創域理工学研究科社会基盤工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル C

環境学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考	
基礎科目	環境学特論	2	選択	共通	6単位を修得する。	
	水災害と水環境	2	選択	共通		
	水文気象学特論	2	選択	共通		
	風と構造物 計測と解析 土木工学と時事問題	風と構造物	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		計測と解析	2	選択	共通	
		土木工学と時事問題	2	選択	共通	
	土木基礎構造物の設計・施工 土木基礎工学特論 コンクリート構造物の維持管理	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		土木基礎工学特論	2	選択	共通	
		コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
	国土情報工学特論 社会基盤整備と市民参加 交通ネットワーク解析	国土情報工学特論	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	
		交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
専門分野	流体拡散論	2	選択	共通	いずれか 4 単位以上を選択必修とする。	
	流域水防災	2	選択	共通		
	環境工学特論	2	選択	共通		
	数値解析特論	2	選択	共通		
	文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究 2 A	4	必修	2		
	文献研究及び実験研究 2 B	4	必修	2		

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 創域理工学研究科社会基盤工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル D

計画学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考
基礎科目	国土情報工学特論	2	選択	共通	6単位を修得する。
	社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	
	交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
	風と構造物	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
	計測と解析	2	選択	共通	
	土木工学と時事問題	2	選択	共通	
	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
	土木基礎工学特論	2	選択	共通	
	コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
	環境学特論	2	選択	共通	いずれか2単位以上を選択必修とする。
	水災害と水環境	2	選択	共通	
	水文気象学特論	2	選択	共通	
専門分野	社会資本整備特論	2	選択	共通	いずれか4単位以上を選択必修とする。
	交通行動分析特論	2	選択	共通	
	文献研究及び実験研究1A	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究1B	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究2A	4	必修	2	
	文献研究及び実験研究2B	4	必修	2	

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 創域理工学研究科社会基盤工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル E

主要なすべての専門分野に精通する幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者・研究者を目指す場合

科目区分	専門分野 (部門)	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考
基礎科目	構造学	風と構造物	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。
		計測と解析	2	選択	共通	
		土木工学と時事問題	2	選択	共通	
専門分野	振動と波動特論	2	選択	共通		
基礎科目	防災学	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。
		土木基礎工学特論	2	選択	共通	
		コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
専門分野	地震地盤工学特論	2	選択	共通		
		コンクリート技術特論	2	選択	共通	
		軟弱地盤の課題と対策	2	選択	共通	
基礎科目	環境学	環境学特論	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。
		水災害と水環境	2	選択	共通	
		水文気象学特論	2	選択	共通	
専門分野	流体拡散論	2	選択	共通		
		流域水防災	2	選択	共通	
		数値解析特論	2	選択	共通	
		環境工学特論	2	選択	共通	
基礎科目	計画学	国土情報工学特論	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。
		社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	
		交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
専門分野	社会資本整備特論	2	選択	共通		
		交通行動分析特論	2	選択	共通	
		文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1	
		文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1	
		文献研究及び実験研究 2 A	4	必修	2	
		文献研究及び実験研究 2 B	4	必修	2	

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。